

施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 自主活動の支援	② 施策番号	7605
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	3 青少年、子どもの健全育成		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
教育部	生涯学習課		

2. 施策の現状把握

〔1〕施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	市民が自主的に活動できる状態をめざす。 青少年リーダー、ボランティアの養成。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態、今後どのように変化していくと考えられるか)	少子高齢化の影響で、若年層の活動者が減り、青少年活動が難しくなる傾向にある。

〔2〕施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 成人記念祭参加率 計算式: 成人式参加者数/新成人数	%	新成人数は毎年変化するため参加率を指標とする。
② 青少年指導員活動参加人数 計算式: パトロール回数×参加数	人	青少年に対するパトロールはメインの事業であるため参加人数を指標とする。
③ 青少年指導員協議会活動参加率 計算式: 活動回数×参加人数	%	青少年指導員協議会活動への指導員の参加率により活動の活発度を測る。

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 成人記念祭参加率	%	目標値	60.0	60.0	60.0	65.0	65.0	
		実績値	59.1	61.5	62.9	—	—	
		達成率	98.5%	102.5%	104.8%			
② 青少年指導員活動参加人数	人	目標値	1,280	1,280	1,280	1,280	1,280	
		実績値	1,600	1,312	1,312	—	—	
		達成率	125.0%	102.5%	102.5%			
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

〔3〕施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性	
1 成人記念祭開催事業	参加率	%	59.1	61.5	62.9	2,376	1,887	1,983	B	イ b	
2 青少年指導員運営事業	パトロールの回数	回	32	32	32	5,554	6,979	7,365	A	ア	○
3 泉南市子ども夢事業	参加率	%	7.99	99	100	2,564	2,578	3,054	B	ウ	
4											
5											
6											
7											
8											
計	3					10,494	11,444	12,402			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのよう貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	自主的活動の促進、多様な体験活動、豊かな人間関係作りにも貢献している。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	成人式の参加率は、開催内容の工夫により微増している。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	きっかけは行政が行い、市民が自主的に活動できるようになった段階である程度任せていくことが望ましいが、行政の関与する部分が多い。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	青少年、子どもの健全育成に関わる団体支援に関する事務事業であり、適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	市民の一層の参加促進に向けて、各団体に対し自主的活動が活発化するよう働きかけていく。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	施策達成に向けた取組の方向性としては、適切に行われている。自主的活動の促進の部分について、さらなる働きかけが必要である。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	効果的な広報活動の展開。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	成人記念祭の企画方法の検討。 青年団事業の拡大。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	法律や制度改正により事業内容の変更、新たな事業の推進が必要な場合は精査の上実施する。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	指標とする成人記念祭の参加率が微増の状況で、参加率維持向上に向けた取組を引き続き進められたい。 各団体との連携を進めるなど、自主活動につながるリーダー、ボランティアの育成に向けた取組や展開についても検討されたい。	